

一歩踏み込んだ「読み」の学習を仕掛ける
——『読む力』を使って

2021年8月22日

コミュニカ学院

竹田悦子・丸山友子・内田さつき

今日の予定

前半 第Ⅰ部(14:00-15:10)

一歩踏み込んだ読みの学習を仕掛けるために

- 「読める」って何ができること？
- 「日本語教育の参照枠」から見ると...
- 『読む力』シリーズ各レベルの特徴と使い方など

後半 第Ⅱ部(15:20-16:20)

読解授業実践の工夫をシェアしよう！

- ブレークアウトセッション1
- ブレークアウトセッション2

質疑応答(16:20-16:30)

第1部

一歩踏み込んだ読みの学習を仕掛けるために

- 「読める」って何ができること？
- 「日本語教育の参照枠」から見ると...
- 『読む力』シリーズ各レベルの特徴

I-1 「読める」とは？1

「読める」って 何ができること？

言語知識があれば、読みの問題は解決！？
つまり、漢字と語彙と文法の問題なの？



NO !

「読み」に影響を与える要因は？

- ・言語知識量（文字・語彙・文法など）
- ・学習のレディネス
- ・モチベーション（学習意欲）
- ・思考力
- ・教育背景（視点／テキストとの距離）
- ・背景知識（教養）
- ・母語における読書量／読書傾向 など

「読む」とは何をすること？

「読む」＝文脈の中でことばの意味をつかみながら
(まとまりのある)テキストにアクセスすること。

文脈＝テキスト内文脈(文文脈)
テキスト外文脈(状況文脈、背景知識)

「読める」ってどういうこと？

- ・言語知識が十分にある←ここが注目されがち。
 - ・文構造(特に修飾・被修飾の関係)がつかめる
 - ・論理(比較・分類・構造化・因果関係など)がつかめる
 - ・文脈が読める
(テキスト内文脈／テキスト外の背景知識)
 - ・客観的に読める(テキストとの距離を調整できる)
 - ・批判的に読める
 - ・創造的に読める
- 言語的・表面的な読み
- 認知的・内容的な読み
- 自立的な読み

I-2 「日本語教育の参照枠」から見ると・・・1

「参照枠」と「読む力—初中級」のCan do ——言語的・表面的な読みだけでは不十分

	参照枠:理解すること 読むこと		『読む力—初中級』
B1	包括的な読解	簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に 主題 を理解できる。	・易しい文章を読んで、論理・意図・要点や、 筆者の提案・アドバイス がつかめる ・リライトされた易しめの文章を読んで、 要点 や 筆者の主張・意図・メッセージ がつかめる ・生の文章を読んで、筆者の 思い・意図 がつかめる
B 1.2	情報や議論を読むこと	・主張のはっきりした論説的テキストの 主要な結論 を把握できる。 ・必ずしも詳しくはなくとも、 提示された問題への対応に関する議論の筋道 が分かる。	
B 1.1	情報や議論を読むこと	身近な話題についての簡単な新聞記事から 重要点を取り出す ことができる。	

I-2 「日本語教育の参照枠」から見ると・・・2

「参照枠」と「読む力—中級」のCan do

	参照枠：理解すること 読むこと		『読む力—中級』
B2	包括的な読解	適切な参考資料を選択して使いながら，様々な目的やテキストの種類に合わせて，読むスピード，読み方を変えながら，独力でかなりのところまで読み解ける。広汎な語彙力を持っているが，頻度の低い慣用句には幾らか手こずることもある。	・比較的身近なテーマのコラム・エッセイ・伝記・対話を読んで、事実関係や物事の経緯、筆者の主張や意図が把握できる。 ・新聞・雑誌のコラムで解説文、教養書を読んで、詳細な事実関係や現状、展望、背景、因果関係、理由、根拠などが把握できる。
B2.1	情報や議論を読むこと	筆者が特別の立場や視点から取り上げた、 現代の問題に関する記事やレポート を理解できる。	
B1	包括的な読解	簡潔な 事実関係 のテキストで，自分の専門分野や興味の範囲内のものは，十分に主題を理解できる。	
B1.2	情報や議論を読むこと	・主張のはっきりした論説的テキストの主要な結論を把握できる。 ・必ずしも詳しくはなくとも，提示された問題への対応に関する議論の筋道が分かる。	

I-2 「日本語教育の参照枠」から見ると・・・3

「参照枠」と「読む力—中上級」のCan do

	参照枠: 理解すること 読むこと		『読む力—中上級』
C1	包括的な読解	長くて複雑なテキストでも、難しい節を繰り返して読めるのであれば、自分の専門に関係がなくても、中身を詳細に理解できる。	・抽象的な内容の教養書や専門分野の入門書を読み、比較、対照、構造、アナロジーを把握しながら、問題提起、論点、筆者の主張、意図、分野の概要が把握できる。 ・論文の抄録、専門書の目次を目的に応じて読める。
C1	情報や議論を読むこと	社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテキストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。	
B2	包括的な読解	適切な参考資料を選択して使いながら、様々な目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら、独力でかなりのところまで読み解ける。広汎な語彙力を持っているが、頻度の低い慣用句には幾らか手こずることもある。	
B2.2	情報や議論を読むこと	自分の専門分野の非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。	
B2.1	情報や議論を読むこと	筆者が特別の立場や視点から取り上げた、現代の問題に関する記事やレポートを理解できる。	

「読めてない」って どういう現象？

- ※学習者はそれなりの仕方で
テキストにアクセスしている！
「なぜ読めないか」ではなく、
「どう読んでいるか」に目を向けよう！
- ※多くの学習者が「概念語の拾い読み」をしている！
機能語(ひらがなの部分)は適当に読み飛ばしている。

概念語の拾い読みとは？

人気のある旅にパック旅行があります。多くの人がパック旅行に参加するのは楽だからでしょう。けっして言葉を話せないからではありません。

ピーター・フランク『ピーター流わくわく旅行術』(岩波ジュニア新書)より

人気 ある 旅 パック旅行 あり /
多く 人 パック旅行 参加する 楽 /
言葉 話せ(ない) (から) /

2. Type of language

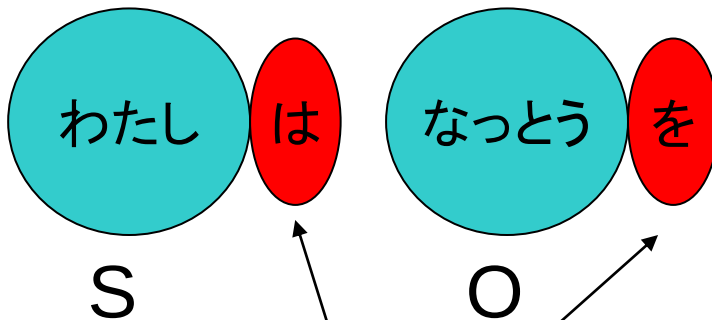
I-3 (再び)「読める」とは？7

言語のタイプ(げんごの たいぷ)

I was not able to eat natto.

わたしは なつとうを

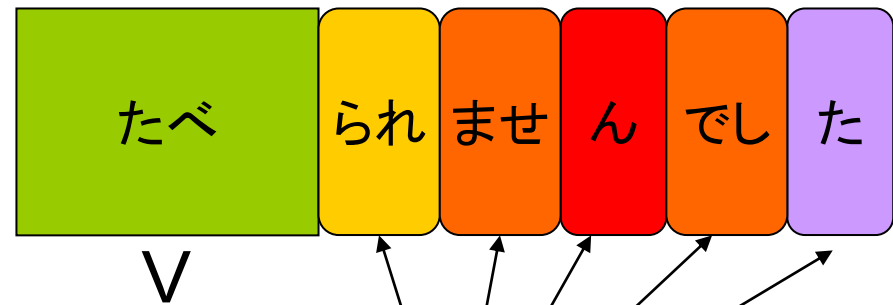
私は 納豆を



Particles 助詞(じょし)

たべ-られ-ませ-ん-でした

食べ-られ-ませ-ん-でした



Auxiliaries 助動詞(じょどうし)

Phrases are made up of small elements sticking to each other.

「まとまりのあるテキストを読む」 とは？

例)「わたしの いちにち」

クリスティーナさんは しゅふです。

まいにち、6時30分に おきます。あさごはんを 食べます。
かじを します。10時にうんどうを します。ひる 2時半に
にほんごの がっこうに いきます。べんきょうします。5時ご
ろ うちに かえります。かじを します。にっきを かきます。
12時ごろ ねます。

(問) よる にっきを かきます。{○か×か？}

『まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい』(三修社)p.90より

意味は文脈の中に生じる

福岡市役所の朝顔のカーテンは今年で2回目。去年は一部の階で試験的に行い、効果を確認したうえで今夏は壁面いっぱいにつるをはわせた。各階ベランダに計約3000株を植えたという。

カーテンが暑さを和らげる分、室内の冷房使用が抑えられて省エネにも資する。植物を育てる楽しさも加わって気持ちもやすらぐ。というわけで、・・・(略)

『西日本新聞』2007年8月10日朝刊「春秋」より

(問)どんなカーテンか？

論理がつかめるか

比較・分類・構造化・因果関係などの概念操作が苦手
⇒教育背景の影響大。

仮説：日本語で思考力を養えば母語にも転移するのでは？

解決策：①図解、フレームワーク
②頭と言葉のエクササイズ
③複眼思考レッスン

立ち位置(視点)の調整

視点の移動の例

自分の立場に
引きつけて読む

「私もそうだった！」

社会全体を
考えて読む

「全体にとって何がベスト？」

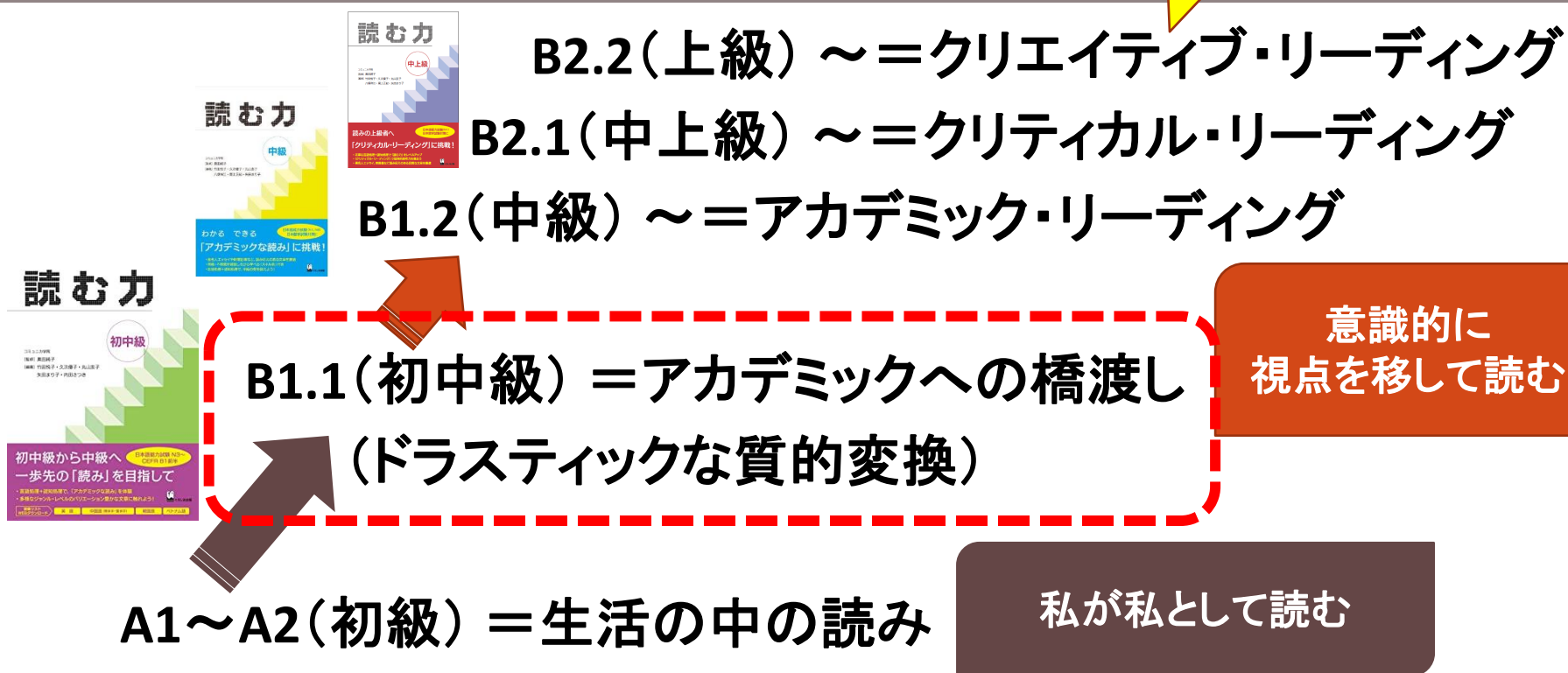
相手の靴を
履いて読む

「この人が伝えたいことは？」

I-4 「読むカシリーズ」の特徴1

生活日本語の延長上に AJはない！

語彙と文法
だけの問題
ではない！



I-4 「読むカシリーズ」の特徴2

「読むカ」シリーズ



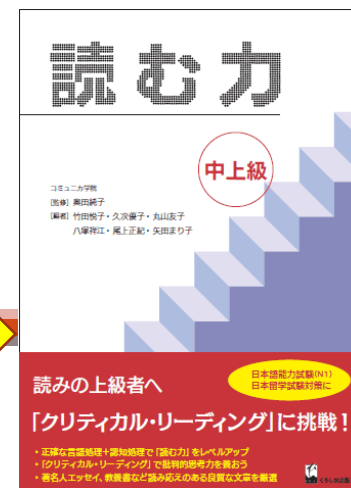
アカデミック基礎

2020年4月刊行



アカデミック・リーディング

2011年6月刊行

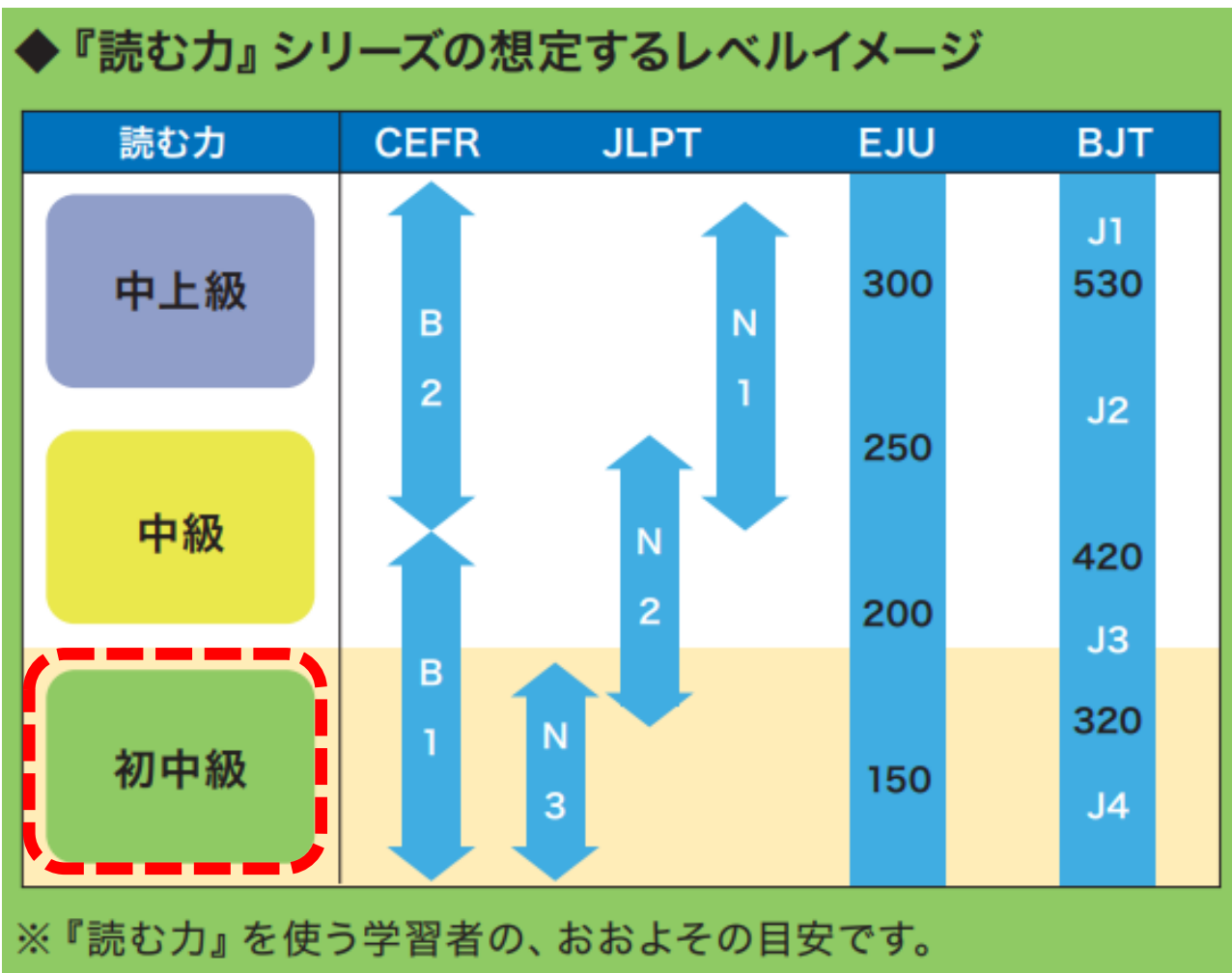


クリティカル・リーディング

2013年3月刊行

「読む力」シリーズの想定する レベルイメージ

I-4 「読む力シリーズ」の特徴3



『読む力』シリーズの特徴

特徴①-1: 段階的にオーセンティック素材を導入(初中級)

特徴①-2: 完全にオーセンティックな素材(中級～)

特徴②: アカデミックな読みのスキル特定

特徴③: 言語タスクと認知タスクを明確に区別

特徴④: エクササイズで抽象思考への橋掛け(初中級)

特徴⑤: クリティカル・リーディングに挑戦(中上級)

『読む力 初中級』を使って^{I-5-0} 『読む力—初中級』を使って

- 対象: 初中級～中級前半 CEFRならB1前半レベル
- 時間: 1課 1.5時間(90分)～2時間(120分)
- 進め方:

*	オリエンテーション
1	読む前に
2	学習目標・スキルの確認
3	全体把握
4	言語タスク
5	認知タスク
6	スキル表をチェック
7	スキル一覧表

学習の仕掛け

1. 読みを共有！
2. 再読を促す！

学習の仕掛け1

——読みを共有！

- ・正解が出たら、それで終わり？
よりインタラクティブで、学習者主体で
読みを深め、読みの力を伸ばす方法は？
- ・ピアで自分がどう読んだかを説明し合おう！
なぜその答えを選んだの？
テキストのどこに書いてあった？・・・

読みの共有は初中級や中級で可能？

「日本語教育の参照枠」やりとりの方略「説明を求めること」

レベル	説明を求めること
C2	B2 と同じ。
C1	B2 と同じ。
B2	相手の発言を正しく理解したかどうかを確認するための質問ができ、曖昧な点の説明を求めることができる。
B1	誰かが今言ったことの意味を明らかにするよう、又は詳しく説明するよう人に求めることができる。

読みの共有は初中級や中級で可能？

「日本語教育の参照枠」やりとりの方略「協力」

レベル	協力
C2	C1 と同じ。
C1	巧みに自分の話を他の話し手の話に関連付けることができる。
B2	相手の反応や意見，推論に対応して，フィードバックを与え，議論の進展に寄与できる。 身近な範囲の議論なら，自分の理解したことを確認したり，他の人の発言を誘ったりして，議論の進展に寄与できる。
B1	B1.2 会話や議論を進めるために，基本的な言葉や方略の中から持っているものを利用できる。 B1.2 議論の中で合意点を要約し，話の焦点を整えることができる。
	B1.1 誰かが述べたことを部分的に繰り返して，互いの理解を確認し，計画どおり話が展開するのに寄与できる。他の人を話合いに誘い入れることができる。

学習者のための

読みを共有する活動のヒント

- ・安全な場をつくろう！
- ・お互いの読みに関心を持ち、認め合おう！
- ・ペアは、だいたい同じレベルの相手と組もう！
- ・「教えてあげる」のではなく、「自分はこう読んだ」とクラスメートに説明しよう！
- ・「読みを語ることで自分の理解を深める」という活動目的を常に意識しよう！

これは教師がどう教えるかではなく、学習者自身がどう学ぶかに関わるポイント

学習の仕掛け2

ーテキストの再読を促す

- ・「読めた」と思っても「他の可能性は？」とじっくり読み返す
- ・教師の説明・解説を聞いてわかった≠読めた
- ・よい質問をし、再読を促し、読みを深める

学習の仕掛け2

ーテキストの再読を促す質問例(全般)

1. これは何タスク？(言語タスク？認知タスク？)
2. ここで使うスキルは？
3. 何段落？
4. どこを読んでそう思った？(テキストのどこに書いてある？)
5. テキストのここと、選択肢のここは同じこと？
6. 本当かな？ もう1回読んでみよう！
7. それは誰の考え？ 筆者？ 自分の考え？

S-S(小グループ、
ペア)でも、
T-S(クラス)でも

学習の仕掛け2

ーテキストの再読を促す質問例(全体把握)

- ①・～(文章の種類:社説／記事／特集記事etc.)は
 どういうもの？
 - ・～には何が書かれている？
 - ・～の文章のスタイルは？
 - ・～の読み手は？書き手は？
 - ・～には意見は入っている？
- ②・～(メタコンテンツの名詞句部分:
 報告／解説／問題提起etc.)はどういうもの？
 - ・～と～は何が違う？

オンラインでは？

それぞれの読みを共有する活動、再読を促す活動はオンラインでも十分に可能！

- ・テキストを指差すかわりに、「何ページの何段落目の（上から／下から）何行目」という言い方を練習しておく。
- ・「何をするか」を明確に指示し、最初は短時間で区切る。
- ・ブレイクアウト時はできるだけカメラオンにする。
- ・全体シェアは時短の工夫を！（分担発表制・疑問点があるものだけシェア・スプレッドシート活用など）

第2部

読解授業実践の工夫をシェアしよう！

- ブレークアウトセッション1
- ブレークアウトセッション2
- 質疑応答

ブレイクアウトセッション1の課題

『読む力ー初中級』第4課「面接は何で決まる？」の
タスク4番（面接官の判断の仕方は、次のどちらですか。）で
クラスで答えを言ってもらったら、
全員が正解のbと答えました。さあ、どうしますか？

ブレイクアウトセッション2の課題

『読む力ー初中級』第4課「面接は何で決まる？」の
認知タスク3番（面接の合否を決める基準は何ですか。）で、
クラスで答えを言ってもらったら、10人中、

4名がa（正解）

3名がb

1名がc

2名がd

と答えました。さあ、どうしますか？

参考文献・資料

Anderson, L. W., & Krathwohl, D. R. eds, (2001). A taxonomy for learning, teaching, and assessing: A Revision of Bloom's Taxonomy of Educational Objectives. Addison Wesley, Longman.

Council of Europe (2020), Common European Framework of Reference for Languages; Learning, teaching, assessment, Companion Volume

黒上晴夫、小島亜華里、泰山裕(2012)『シンキングツール～考えることを教えたい～(短縮版)』、NPO法人学習創造フォーラム

コミュニカ学院(2009)到達目標とパフォーマンス課題を明示した読解教材の開発――学習と教育の透明性を図るために――平成20年度文部科学省補助事業「教材等研究・開発等」研究報告書

二通信子(2004)日本語の教科書ではどのような「読み」が求められているのか――読解教科書における質問の分析から、アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会 科研費研究報告書